



医療法人 昭仁会

北野 病院 (埼玉県新座市)

院長 服部 明德



新年は異常気象が続きました。10月前半は半そでで過ごし、後

半はコートが必要な寒さでした。日本の四季から春秋がなくなり、夏と冬が混じりあって、季節が移り変わっていくようです。地球はどうなるのでしょうか。不思議なのは異常気象に慣れてしまつて、昨年の猛暑もつ記憶には残っていません。

ただ忘れてはならないのは、大島やフィリピンを襲った台風で、おそらく数年のうちにはスーパー台風が日本を襲つてでしょう。しかし、台風の場合はあらかじめ進路が予想でき、防災の準備に数日前から取り掛かれます。日ごろから災害に備え、今年も無事これ幸いな年としましょう。

介護老人保健施設 四季の里

(埼玉県新座市)

施設長 関 公一



新年も様々な出来事がありました。今年は何んな世相となる

のでしょうか。どのようなものになろうと、それはそれと世の動きに巻き込まれることなく超然と、牛も千里、馬も千里、明るく楽しく生きたいものです。今年も午年の中でも甲午です。新しい時代の幕開けです。甲は元々、固い殻を描いた象形文字のことで、植物でいえば種子の状態。成長過程で一番最初の段階です。飛躍する将来を見据え、じっくり力を蓄えて、実践を大切に、決して背伸びせず、着実な前進を図りたいと思えます。本年もよろしく御願い申し上げます。

社会福祉法人 栄光会

統括施設長 北林 登美雄



新年あけましておめでとうございます。栄光会は今年で19年目を迎へ、日頃より地域の皆様をはじめと

し、関連施設の皆様方のご支援とご協力を賜り感謝申し上げます。昨年は4月に川口市において法人3番目の特別養護老人ホーム「かわちこいの園」を開設いたしました。今年も8月に4番目となる「さかどいの園」(坂戸市森戸・ユニット型120床)を開設いたします。

現在、埼玉県内を中心に高齢者介護・保育事業に取り組んでおり、これからもそれぞれの地域社会において必要とされる施設、信頼される施設を目指し、より一層サービスの向上に努めてまいりますので、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

特別養護老人ホーム ロイヤルの園

(埼玉県所沢市)

施設長 高野澤 一夫



新年あけましておめでとうございます。昨年度は、26年8月に開設する「特別養護老人ホームさかど

いの園」準備のため4月に所沢の施設から責任者が移動しました。部署によっては若い責任者が着任し、引き継ぎ等に苦労したと思えますが、既存施設の活性化のためには良かったと思っています。本年度も地域の皆様に貢献できる施設になれるように、栄光会所

特別養護老人ホーム さいたまの園

(埼玉県さいたま市)

施設長 深松 之雄

新年あけましておめでとうございます。本年度から施設長を拝命し、「さいたまの園」で7度目の新年を迎えることとなりました。私自身は、ちょうど50の歳を迎えた節目の年でした。



昨年3月、実家の母が脳梗塞に倒れ、急性期、回復期を経て、現在は老健でお世話になっております。右麻痺と失語症が残り、「介護者」という状況が紛れもない自分事となりました。晴天の霹靂に家族の生活が一変、さまざま不安を抱えていくこともよく分かります。

一方、老健の職員は皆親切、そのありがたさも痛感してきました。昨年は、職員の不足から、厳しい状況が続きましたが、「介護」の職に就いている人、就こうとする人には、困っている人の役に立つ、立派な仕事であることを、経験の中から伝えていきたいと思えます。

自らも誇りをもって取り組んで行けるよう努力します。本年も、皆さまのご指導をよろしくお願いいたします。

特別養護老人ホーム かわちこいの園

(埼玉県川口市)

施設長 鈴木 一登



新年あけましておめでとうございます。昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。

昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。

昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。

昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。昨年4月に開設しまして初めての正月を迎えることができました。

ケアハウス ロイヤルの園

(埼玉県所沢市)

施設長 村田 康二



新年あけましておめでとうございます。施設長として

新年あけましておめでとうございます。施設長として3度目の正月を迎えました。昨年はケアハウス開設15周年を迎えました。現在も開設以来の入居者が12名居られ、元気に過ごされています。その方々も含め80名全員の皆様がこれからも安心して、安全な生活ができるようケアハウスを運営していきたいと思えます。

年頭にあたり、以前より心がけてきた言葉を思い起こし、新たな一年をスタートしたいと思えます。それは、教育学者「森信三」先生が提唱されたいかなる時、処にもあてはまる三原則「時を守り、場を浄め、礼を正す」に習って「身を清め、時を守り、礼を尽くす」の実践を期し、当ケアハウスが明るくて暖かく、家庭的なホームと評価されるよう引き続き努力して参りたいと思えます。これからも、皆様方のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

